

水辺の生きもの

● カメ・カエルの仲間



カメの日光浴。川辺などで見られるほほえましい光景ですが、志木で見かけるカメのほとんどは外来種のアカミミガメです。



アカミミガメ

ヌマガメ科 最大甲長 28cm
北アメリカ原産の外来種。目の後ろに赤い筋があり、名前の由来となっている。



アカミミガメの幼体
別名ミドリガメ。ペット用に輸入・販売されたものが捨てられ野生化した。



クサガメ

イシガメ科 最大甲長 30cm
甲羅に3本のキール(隆起)がある。江戸時代以降に中国などから移入されたと考えられている。幼体はゼニガメと呼ばれる。



ニホンスッポン

スッポン科 最大甲長 38cm
一般のカメの甲羅表面は固いが、スッポンの甲羅は軟らかい。柳瀬川では幼体も見つかっている。